

平成30年 8月23日
西部農林振興センター益田事務所農業普及部

標 題 農業クラブ員が日頃のプロジェクト活動を熱く発表！
～「新品種のブドウ苗育成で産地振興」が全国大会へ～

(ダイジェスト)

7月13日(金)に益田市立市民学習センターにおいて標記県大会が開催され、3分野に5校11グループがエントリーし、日頃の活動内容等の発表がありました。
各分野で最優秀賞を獲得した3グループが8月8・9日の中国大会に出場した結果、出雲農林高校の題目「新品種のブドウ苗育成で産地振興」の全国大会出場が決定し、そこでの上位入賞が期待されています。

本大会は農業クラブ員の専門的な知識と能力等を高めるため、毎年度開催されており、本年度は次のとおり発表がありました。

- ◇分野Ⅰ類「生産・流通・経営」：4校4グループ
- ◇分野Ⅱ類「開発・保全・創造」：3校3グループ
- ◇分野Ⅲ類「ヒューマンサービス」：4校4グループ

何れも、校内や地域など身近にある課題を捉え、先輩たちの成果を評価しながら継続的かつ計画的に取り組まれており、さらに工夫を凝らしながら分かり易く発表され、審査員泣かせの大会となりました。

審査の結果、3分野とも出雲農林高校のグループが最優秀賞を受賞し、先日開催された中国大会(山口県)に出場しました。

【最優秀賞】

- ◇分野Ⅰ類：「新品種のブドウ苗育成産地振興」 出雲農林高校
- ◇分野Ⅱ類：外園海岸の緑化～ハマボウフウの品種改良と商品化～ 出雲農林高校
- ◇分野Ⅲ類：しまね和牛の発展を目指して～子牛の強化哺育～ 出雲農林高校

中国大会の詳細は分かりませんが、出場した3つのうち「新品種のブドウ苗育成で産地振興」が最優秀賞に輝き、10月に鹿児島県で開催される第69回全国大会への切符を獲得しました。

このプロジェクトは出雲農業普及部の「普及情報NO.5」でも紹介されているとおり、ぶどう産地の再生に向け、優良系統デラウェアの苗木生産を同高校、ぶどう生産組合、JAしまね出雲地区本部、島根県(東部農林振興センター、農業技術センター)が産学官連携しながら取り組んでいるもので、全国にも誇れる内容でした。

現在、全国大会に向け、ブラッシュアップ中と聞いていますが、是非とも西郷どん見守る鹿児島島の地で大いにきばって発表し、上位入賞を果たすことを期待しています。



【県大会の様子】